

芝浦工業大学後援会 常任幹事会議事録

日 時 2025 年 1 月 18 日(土)13:30～16:00
開 催 場 所 芝浦工業大学豊洲キャンパス本部棟 2301 教室及び Zoom 会議システムにて実施
出 席 者 (対面)宮本明彦、増田高夫、渡部麻弥、眞智洋二、近藤真紀、田本敬一、江川潤、
鬼崎充司、土居晶子、内山宗治、朝火里津子、宇津利枝、斎藤泰弘、太田宏、
富岡武史
(オンライン) 忠井清志
(欠席者)山田淳子
議事録署名人 江川潤、内山宗治
事 務 局 西川政男、鈴木直江、松山香織(オンライン)、武藤祐馬、守屋知佳子(文責)

議題

1. 検討事項

- ① 2025 年度予算案の検討
1-1.2025 年度予算案編成の検討
1-2.2025 年度後援会援助金申請の検討
- ② 2025 年度会議日程の検討
- ③ 2025 年度地域交流会開催日・運営の検討
- ④ アクティブ・プラン援助金取り扱い規則改定の検討
- ⑤ 2025 年度定期総会開催方法・スケジュール・内容の検討

2. 確認・報告事項

- ① 支部地域交流会実施報告
- ② インフルエンザ予防接種実施報告
- ③ 11/2・3 芝浦祭物産展実施および売上金寄付報告
- ④ 11/23 勉強会実施報告
- ⑤ 200 円朝食実施報告
- ⑥ 支部事務補助費について
- ⑦ その他

会冒頭に宮本会長よりご挨拶をいただいた。会長を議長に選任し、事務局西川にて会を進行。
以下、敬称略

1. 検討事項

① 2025 年度予算案の検討

1-1.2025 年度予算案編成の検討

2025 年度予算案編成の考え方については別紙とする。

【添付資料】1-①-1-1.2025 年度予算編成の考え方

1-①-1-1.2.2024 年度後援会予算執行状況・予測

1-①-1-1.3.2025 年度後援会予算案

資料を基に、事務局西川より説明

2024 年度をベースに予算案を作成。アクティブ・プランについて2024年度申請団体増加に伴い、600 万円から 900 万円に増額を提案。

1-2. 2025 年度後援会援助金申請の検討

1.後援会援助金は、学費納入者からいただいた後援会費から拠出されることから、原則として下記の目的に沿ったものとします。

- ① 現役学生の教育・研究・課外活動等の学生生活支援になる事業
- ② 後援会員である保証人のサポートに資するための事業
- ③ 原則として単年度ずつの援助であること

2.申請する事業は、本援助金が採択されなくても実施し、予算の確保をしていること。

3.後援会会則第 3 条第 7 号の大学が行う諸事業の援助(教育等奨励助成費)については、当該事業の 4 分の 3 を上限とする。

援助金申請実施スケジュールについて

1 月 20 日(月)「2024 年度実績報告書」「2025 年度後援会援助金申請書」について各事務部署へ通知(2 月 14 日(金)〆切)

2 月 18 日(火) 後援会事務局から後援会役員に対して、各部署からの申請内容についての質問受付(2 月 25 日(火)〆切)

3 月 1 日(土) 臨時常任幹事会で検討

3 月 22 日(土) 幹事会にて審議

【添付資料】1-①-1-2.後援会援助金の申請について

■田本 (アクティブ・プラン)1 件あたり 50 万円との上限を設けることには賛成であるが、公認団体の申請が減るのであれば、増額する必要はないのでは。

■眞智 300 万円の増額となった場合、どこから捻出するのか。2024年度のスタートは予備費 900 万円で余裕がなかったが。

■事務局西川 2025年度の案は、すでに 300 万円の増額を見込んでおり、予備費は 1500 万円での

スタートであるため、スムーズに運営できる。

■内山 芝浦祭と勉強会について、支部からの対面参加人数は半分に分けないといけないのか。

■事務局鈴木 どちらか一方のみ対面参加とし、必ずしも半々の人数でなくてよい。

検討事項

事務局提示の予算案で進める

検討結果：挙手多数により承認

② 2025 年度会議日程の検討

資料・追加資料を基に事務局西川より説明

2025 年度の後援会行事は基本対面参加とする。

常任幹事会、支部幹事参加の幹事会・定期総会・アクティブ・プラン選考会・勉強会はハイブリッド開催。

2024 年度の父母懇談会は天候不良のため中止したが、2025 年度は 8 月 30 日(土)の予定で内容未定だが、本部役員勧誘のための後援会トークルーム実施を学事部に検討を依頼予定。

2024 年度からの変更点

・会議日程

常任幹事会と幹事会を本来の形であった同日開催とする。

その場合の開催時間は、以下の通りとなる。

常任幹事会 10:00～12:00 ランチミーティング 12:00～13:00 幹事会 13:00～15:00

・会計監査日程

2024 年度は、監査役のスケジュールが確保できず、第 3 週から第 2 週とした。2025年度は4月開催会議終了後の4月第 3 週とする。

・3 月開催の幹事会日時を、3 月第 3 週から 3 月第 2 週に変更

2026 年 3 月第 3 週は 3 連休の中日にあたるため、参加人数の減少、チケット・ホテル代が高騰し、予約が取りづらいなど想定できるため。

【添付資料】 1-②.2025 年度後援会会議日程(案)

■田本 同日開催で不都合があったので(日程を)分けたと聞いている。事務局に負担をかけていたことは理解が出来るが、幹事にきちんと(常任幹事会で決定した内容を)説明する場が必要であるため、同日開催ではない方が良いという意見を持っている。また、10時開催は地方から出席する支部長には厳しい時間帯となる。

■事務局西川 スタート時間の後ろ倒しも検討する。前後泊ともに必要ならば考えないといけない。

■宇津 同日開催が不都合である理由を説明して欲しい。

■事務局西川 常任幹事会と幹事会を別日にすることが、前副会長から提案された際の画面資料を基に説明。

■田本 事務局も1～2年で人が代わってしまっているの、わかっていないのでは。

■眞智 過去には同日開催で1.3.5.7.9.10月と年6回開かれていた。回数的には負担が減っている。常任幹事会での生煮えの意見を幹事会で提案することになる点が懸念されたのでは。

■鬼崎 過去には(同日開催で)6回行われていた。(事務局が)昼休憩の間に資料を訂正し幹事会に提出していたが、昼食はどうしていたのかと不思議だった。自身は交通に不便はないが、北海道や九州は前後2泊しないと来られないのでは。6→3回に会議をする・しないではなく、交流という意味で支部長の対面参加が減ることは寂しいと感じる。

■江川 働き方改革はしないといけない。しかし一度不具合があって変えたものを元に戻すには、よほどの準備をし、(議事録にAI利用など)工夫をし、やる方向で一緒に考えていかないといけない。何回も来るよりは1度で済んだ方が有難い。時間的なことがクリアになれば、東北は前泊なしで良いと思う。事務局側でももう少し詰めて欲しい。

■朝火 (個人的な意見として)休日出勤と残業を減らすことを受け入れなければいけない立場である。協力すべきことはするべきと考えている。幹事会と常任幹事会を同日にすることで、目的は果たされるのか。

■事務局西川 会議内容を整理した上で提案しているため不具合はない。会の運営上必要が生じた場合は、例外対応として、9月の予備日を利用し議論いただきたい。

■朝火 事務局に無理させない後援会にすべきと個人的には考える。

■土居 別日開催にした一番の理由は、意見をまとめるところまでいかないまま、会議が終了することだったのでは。負担少なく運営がうまくいくためには、そこをクリアにすべきでは。例えば事前にZoomで会を行い、対面の常任幹事会で意見をまとめるとか。

■事務局西川 過半数という議決要件があるため、一通り議論いただき、最後に決を取るという原則に戻していただきたいと考えている。

■内山 この案に近づけるために、常任幹事会を1時間繰り上げ、幹事会までに2時間を空ける。会の2週間か3週間前にオンラインで常任幹事会をやるとか、事務局で練り直していただき、我々はそれに合わせる必要があるのでは。緊急性があれば会長決裁で9時スタート、支部長は前泊可能といった対応もあるのでは。

■眞智 9月から3月まで会議がないので、1月くらいにZoomでも良いので設定は必要なのでは。幹事のワークライフバランスも考えると賛成。ただし仕組みを整えもう少し検討した方が良いのでは。

■太田 資料を1週間前に連携では確認が厳しい。2～3週間前に展開いただき、アンケートではないが、事前に意見や要望を出し、常任幹事会で議論とするのが良いのでは。会議時間は議題によってフレキシブルに考える。

■土居 資料が修正となった場合、幹事会の出席者が資料をみられるのは直前となるか？その場合意見出しや修正内容の咀嚼は出来ず、承認するか・しないかのみ判断となるか。

■事務局西川 その通り。

■内山 幹事会出席者に資料を送付する際には、【資料修正の可能性はある】旨告知しておく。
常任幹事会での発言内容は、幹事会でも再度同様の内容で発言することは当たり前。

■事務局西川 2～3週間前にZoomで事前にご意見をいただくことが必要。であれば、修正した資料を幹事会資料として提供が可能。9～3月まで会議がないとのご意見があったが、11月の勉強会と合わせ会議日とするのも良いのでは。

検討内容

案①同日開催(変更した事務局案)

※変更内容:会議日の2週間前に常任幹事に対し Zoom で資料内容の説明。変更した資料で対面の常任幹事会を迎える。同様の資料を幹事会出席者にも提供。11月の勉強会の際に、支部からの意見を伺う会とする形で会議日を追加

案②別日開催

検討結果: 挙手多数により案①(変更した事務局案)を承認

③ 2025 年度地域交流会開催日・運営の検討

資料を基に事務局武藤より説明

11 月 2 日(土)の芝浦祭準備前に各支部長と事務局にて来年度開催日程について打合せを行い、支部にてご検討いただいた結果、来年度の地域交流会開催日程は以下の通り開催を予定。

5月 25 日(日) 中国支部 広島ガーデンパレス

7 月 12 日(土) 四国支部 JR ホテルクレメント高松

7 月 27 日(日) 北海道支部 札幌ガーデンパレス

9 月 6 日(土) 九州・沖縄支部 オリエンタルホテル福岡博多ステーション

9 月 27 日(土) 東北支部 仙台国際ホテル

10 月 12 日(日) 東海支部 名古屋ガーデンパレス

11 月 15 日(土)or 16 日(日) 本部①

12 月 13 日(土)or 14 日(日) 本部②

1 月 24 日(土)or 25 日(日) 本部③

2025 年度の地域交流会本部開催については上記日程のいずれか、開催地は関西地区、甲信越地区、

北陸地区を予定し、会場詳細については事務局にて調整したのち、常任幹事会・幹事会にて報告する。

■眞智 今年できなかった北陸はマスト。就職・院進学を控えた3年生までに必要と考える。3年に1度開催することが保証人にも喜ばれると思う。日程について11月は後援会行事があるため、12月と1月・2ヶ所で検討するのが良いのでは。

■内山 本部予算で沖縄開催を検討いただけないか。

■事務局武藤 本年度 Zoom 配信を試行的にご案内したが、申し込みがなかったため廃止となった

■事務局西川 オンデマンドでの配信も検討する。

■宇津 Zoom の利用方法がわからない方もいる。利用方法も含めアナウンスしたならば、参加者が増えるのでは。

検討内容

本部開催 2 回・開催場所2ヶ所(北陸地区、甲信地区〈長野または新潟〉)

日程については、12月・1月。会場予約の都合で土日のいずれかを決定。

検討結果：挙手多数により承認

④ アクティブ・プラン援助金取り扱い規則改定の検討

資料を基に事務局西川より説明

アクティブ・プラン援助金取り扱い規則について、別紙の通り、改定。

以下特記事項。

・第 4 条 2 項、「活動」を「個人・団体」に変更。理由は、昨年活動(プロジェクト)別に他支援制度とアクティブ・プランに重複申請をする団体があったため。

・第 4 条 5 項、「なお、保険の加入料については、援助金を希望する団体・個人の自己負担とする。」を削除。理由は、学生より保険の加入料を援助金から支出したいとの要望があったため。

・第 6 条、「に加えて、学生センターの助言も踏まえて」を削除。理由としては、現在学生センターの助言はいただいていないため。

・第 7 条 3 項、「援助金支給額の上限は一個人・団体 50 万円とする。」を追加。理由としては、本年度予算 600 万円に対し 16 団体の申請があり、結果として非公認団体への支援額が少なくなったことを踏まえ、体育会・文化会団体には、申請対象が体育会・文化会団体のみで、予算額 1,600 万円の SI テック課外活動活性化補助金への申請を勧めたいため。

・第 8 条、「書面により」を「電子メール等で」に変更。理由として、書面にする必要がないため。

・第 10 条、「こともある」を削除。理由は、中間報告書を全採択団体から必ず提出してもらっているため。「また、別途活動風景等の報告を求めることがある。」を追加。理由は、後援会広報誌等の作成等にご協力いただくことがあるため。

【添付資料】 1-④.アクティブ・プラン援助金取り扱い規則改定(案)

検討内容

アクティブ・プラン援助金取り扱い規則を別紙の通り改定。

検討結果：挙手多数により承認

⑤ 2025 年度定期総会開催方法・スケジュール・内容の検討

資料を基に事務局守屋より説明

2024 年度は、対面にて定期総会・懇親会を開催、保証人についても対面参加とした。

2025 年度の開催方法について、案①・②の検討をお願いします。

案① 全役員・保証人ともに対面参加

案② 三役・常任幹事・本部幹事・退任支部幹事は対面参加、支部幹事はオンライン参加、保証人は対面参加

支部役員の宿泊先については、事務局一括予約。それ以外に宿泊の場合は自己負担とする。

(物産展・勉強会についても同様)

総会までのスケジュール案

5 月 7 日(水) 保護者に開催通知郵送。

5 月 8 日(木)～5 月 30 日(金) 対面参加有無・書面に対する質問を WEB にて受付。

<6 月 7 日(土) 午前 三役事前リハーサル>

<6 月 21 日(土) 当日 スケジュール案>

13:00～14:15 後援会定期総会

【議案 1】 2024 年度 事業及び決算報告・監査報告

【議案 2】 2025 年度 事業計画(案)及び予算(案)について

【議案 3】 役員の選出について

賛助会員紹介(株式会社エスアイテック様・関東自動車株式会社様)

14:30～15:15 講演 ←磐田副学長に依頼予定

15:30～17:00 懇親会

17:15～19:15 後援会新旧役員懇親会

2024 年度は以下を配布

・総会資料冊子

- ・キャリアサポート課資料
- ・趣意書&カタログ
- ・熱海セミナーハウスパンフレット&チラシ
- ・日経キャリアマガジン特別号
- ・エスアイテック資料
- ・ネームフォルダ(1年生とその他学年で色分け)
- ・テクしばくんトートバッグ
- ・テクしばくんペットボトル水

(2025年度は、2022・2023年度入学記念品の在庫であるステンレスボトルを追加予定)

【添付資料】 1-⑤.第34回後援会定期総会開催案内(案)

■太田 予算上は案①・案②のどちらで計上しているのか

■事務局西川 予算上は案①で計上している。

検討内容

案① 全役員対面参加

案② 支部幹事のみオンライン参加

検討結果：挙手多数により案①を承認

2. 報告・確認事項

① 支部地域交流会実施報告

➤ 今年度の支部地域交流会実施報告は以下のとおりである。

開催日	開催会場	24 年度参加人数 (うち一般会員)	23 年度参加人数 (うち一般会員)	新幹事承 諾人数	備考
7/20(土)	サイプレスホテル名古屋駅前(名古屋市)	70 名(50 名)	44 名(21 名)	3 名	
東海支部					
7/28(日)	広島ガーデンパレス(広島市)	25 名(12 名)	21 名(11 名)	3 名	
中国支部					
9/22(日)	ANA クラウンプラザホテル福岡(福岡市)	38 名(24 名)	37 名(26 名)	10 名	
九州・沖縄支部					
9/28(土)	仙台国際ホテル(仙台市)	47 名(26 名)	48 名(31 名)		新幹事リクルート中の ため未記載
東北支部					
10/5(土)	ホテルマイステイズ松山(松山市)	24 名(8 名)	24 名(10 名)	2 名	
四国支部					
10/20(日)	札幌グランドホテル(札幌市)	31 名(18 名)	26 名(15 名)	1 名	
北海道支部					
総計		235 名(138 名)	200 名(114 名)	19 名	

昨年度より一般会員参加が増加した。また、各支部の新幹事については現在までで 19 名増。

今年度の本部開催は山梨、大阪の 2 会場で開催。大阪開催が来週 25 日のため、終了後 2 回合わせて内容を報告。

② インフルエンザ予防接種実施報告

➤ 豊洲・大宮キャンパスにて、10 月 21 日・10 月 23 日・11 月 28 日・12 月 3 日の 4 日間にわたりインフルエンザ予防接種を実施。計 1,974 名の学生が接種。

※今年度は、集団接種日を 1 日増やし対応。学外接種費用援助なし。

<参考>2023 年度は学内接種 1,778 名・学外接種援助 275 名

③ 11 月 2・3 日芝浦祭物産展実施報告

➤ 11 月 2 日芝浦祭物産展準備・11 月 3 日芝浦祭物産展出店日

後援会役員 61 名参加・購入者 193 名

販売開始後約 1 時間程度で全ての商品が完売と盛況のうちに終了。

➤ 芝浦祭物産展売上 362,700 円。芝浦祭実行委員会・大宮祭実行委員会のそれぞれに 181,350 円ずつを寄付。

<参考>2023 年度は売上 375,000 円 売上前年比 96.7% ▲12,300 円

【添付資料】2-③-1.物産展アンケートまとめ
2-③-2.物産展売上金寄付資料

④ 11 月 23 日勉強会実施報告

- 後援会役員対面 29 名・オンライン 43 名参加。
- 生命科学科 分子細胞生物学研究室 福井浩二教授による講演「体のサビが老化を早める？」を聴講。

【添付資料】2-④.勉強会アンケートまとめ

⑤ 200 円朝食実施報告

- 実施期間:4 月 15 日～1 月 27 日
前期(4～7 月):豊洲 6,690 食、大宮 6,795 食(内 100 円朝食 972 食)
基準提供数:豊洲 100 食・大宮 117 食
※大宮 100 円朝食はメインなし、ごはん・小鉢 2 品・みそ汁

12 月 18 日に行った生協と事務局の打ち合わせにて、3 月 22 日の幹事会にて生協より直接ご報告いただだけけるよう依頼。

生協作成の 2024 年度報告・2025 年度支援依頼・内容については、別紙とする。

【添付資料】2-⑤-1.2024 年度大宮生協食堂活動報告資料

2-⑤-2.【豊洲】200 円朝食明細

2-⑤-3.【大宮】200 円朝食明細

- 2025 年度食支援の支援額・支援内容については、3 月 1 日の臨時常任幹事会にて、検討をお願いいたします。

⑥支部事務補助費について

2024 年度支部事務補助費の決算、2025 年度予算案策定は以下のスケジュールとなります。

日程	担当	やるべきこと
1 月 18 日	事務局	① 2024 年度決算見通し ② 2025 年度事業計画・予算案 ファイルを Teams 支部 2025 年度フォルダに用意と各支部への通知
2 月 25 日	支部	① 2024 年度決算見通し ② 2025 年度事業計画・予算案ファイルを記載（または事務局宛メールにて提出）
3 月上旬	事務局	各支部口座の確認
3 月 31 日まで	支部	口座残金を後援会口座へ全額返金 残高ゼロがわかる通帳コピーを事務局へ提出
4 月 3 日	事務局	2025 年度支部補助費を各支部口座へ振込
4 月 14 日	支部	2024 年度決算確定、支部会計監査終了後、以下を印刷、領収書貼付後、事務局へ提出（※クロネコヤマト着払い発送または、4/12 常任幹事会時に提出） ① 2024 年度決算書（※押印） ② 2024 年度出納簿 ③ 2024 年度出金伝票
4 月 19 日		会計監査
4 月下旬	事務局	会計監査結果報告後、ファイル返却（送付）またはお預かり

⑦その他

2025 年度芝浦祭物産展本部ブース設置について

- ・今年度同様に、実行委員会制とした上で物産展全体の運営のためのリーダーを設置する。
- ・本部の出店を準備するため、実行委員(幹事)を募る。また、本部出店のための実行委員(幹事)からリーダーを設置する。

■太田 本部としてブースを出せないかを検討中。具体的なことは決まっていない。予算案に本部費用 8 万円が含まれているが、幹事会で承認を得られなければ進めることはない。(支払・精算等)支部からのサポートが最小限となる形で知恵を絞っているところ。課題は多いが、まずは支部の皆さんと同じ立場でブースを出したい。ということをご理解いただき、皆さんにご相談させていただきたい。

後援会ホームページサーバー移行について

2022 年に契約をスタートした後援会ホームページ用 Web サーバーについて、2025 年 6 月のサーバー有料アップデートおよび、現在のコンテンツに見合わないサービス金額のため、他の Web サーバーへ 4 月から移行を検討しております。(コンテンツについての変更はありません)

現在の 1 か月の請求金額分よりも低い金額で 2 年分の Web サーバー代となり、大幅な後援会活動事業費の節約となります。

現在) TWON マネージメントサービス 月額 105,600 円

移行例) サクラ レンタルサーバー 商品名「ビジネスプロ」

36 ヶ月一括:138,600 円/月額換算 3,850 円

24 ヶ月一括:100,320 円/月額換算 4,180 円

12 ヶ月一括:52,800 円/月額換算 4,400 円

後援会役員適正人数について

地域交流会等での役員勧誘にあたり、限られた予算内で、後援会活動を運営していくため、基準となる人数を検討する必要がある、2025 年度以降の新役員勧誘については、1 年生のみとし最大 3 名まで。その他学年の勧誘を希望する場合は、現役員含め各学年 3 名までとする形としたい。

本部・支部の最大役員数は、学部 1 年～修士 2 年までの 18 名となり、3・4 年生については、院進学予定者のみ勧誘可能、修士 1 年・2 年については、勧誘しない。

■内山 基本ベースとしては良いことかと。支部の良識的な判断においてやっていけば良いのでは。

■江川（新役員を入れると）東北支部が 18 か 19 人となる。新幹事候補を 7 名挙げたが、絞り込もうと思っている。これ以上増えると支部も回らない。面接した上で採用したい。

■鬼崎 初めは人数が多い方が良いと思ったが、今は少し疑問に思っている。事務局案で良いと思う。2023 年度は地域交流会のチラシ配布を 1 年生のみとお願いした。不公平という意見もあったが、絞った方が、費用・事務作業削減となる。

内山支部長より

勉強会での懇親会を考えていただきたい。

※事務局より、2025 年度勉強会予算に含まれている旨回答。

増田副会長より

我々の先輩が良かれと思い、後援会の活動内容を増やしてきた。ボランティア活動なので、我々が全部やるなら良いが、かなりの事務作業を事務局にやっていただいていることでここまで来ている。ボランティアなので年度が替わったら、止める・やり方を変えるなどあっても良い。今までやっていたボリュームをそのまま持っていくことは厳しいのかなど。会議で意見が通らないこともあるが、決定後は力を合わせて協力しながら楽しくやっていきたいと思っている。

次回 会議日程

3 月 1 日(土) 13:30～15:30 臨時常任幹事会(Zoom 会議)

3 月 22 日(土) 12:30～13:30 ランチミーティング

13:30～15:30 幹事会

以上

会 長 宮本明彦（2025 年 1 月 23 日確認）

議事録署名人 江川 潤（2025 年 1 月 24 日確認）

議事録署名人 内山宗治（2025 年 1 月 24 日確認）